

優秀賞

中学生区分

私の妹

中城村立中城中学校 二年

久場 美央俐

ダウン症の知的障害は、個人差があります。私の妹は、
程度度の知的障害と診断を受けています。

程度度の障害といっても、おしゃべりや、人が言っていたこ
とを覚えて教えてくれたりもします。

ダウン症の発現率からすると、中城中の生徒数では、0〜
一名となります。しかし、中城中には、ダウン症の障害をも
っている子はいません。

ダウン症は、800〜1000人に一人生まれるといわれて
おり、今のところ、原因はふめいです。

私のまわりには、ダウン症の子の家族が、いくつかいます。
年齢は違うのですが、発達のスピードなどはにているので、
情報交流などもしています。

私の妹は、いたづらをすることが多く、周りの反応をうか

私の妹はダウン症という障害をもっています。ダウン
症とは、二十一番目の染色体が通常よりも一本多く、三本あ
る状態のことです。私の妹は、知的障害でもあり、しんし
つかんがあります。生まれつき、心臓に穴があいていたため、生
後三か月で手術をしました。そのため、生後四か月になるまで、
自宅に帰ることができませんでした。

がいながら、楽しんでる感じがします。最近は言葉をたくさん覚えて、おしゃべりも上手になってきています。また、話している内容も理解できているようにも見えます。

私がピアノを弾いていると、私のひぎの上ののって、ピアノを弾ける人になりきって、ピアノを弾いています。ほかにも、DVDの主人公になりきって、主人公が言うセリフや、歌、ダンスを覚えて、家でひろうしたりもします。

私が、妹が成長したなと思ったことは、数字を、1〜5までを、数えることができることと、一年生になって、学童に入ったことで言葉をたくさん覚えていることです。また、トイレに行くのも、一人でいけなかったけど、友達と一緒にいくことで、おもらしすることも減ったので、よかったと思いました。

これから、いろいろな人と出会うと思います。その中には、

妹のように障害を持った方や、障害を持った人をいやな目で見てくる人もいると思います。でも、私は、どんな人にもやさしく接し、支援が必要であれば、助けてあげたいと思っています。